



林 声

2021

7 月号



今年4月に岡山県農林水産総合センター森林研究所内（勝田郡勝央町植月中）にオープンした林業技術研修棟。今回は、その林業技術研修棟を活用した研修の内容等をご紹介します。（詳細はP2に記載）

写真の説明

研修機材を配備した研修室(大)	木漏れ日あふれる玄関ホール
圧縮木材を使用した廊下	伐倒練習機を使用した研修風景

目次

林業技術研修棟を活用した研修内容等	2	技能講習等情報	10
普及指導区の情報（津山普及指導区）	3	林産物市況	11
令和3年度		森林・林業施設の紹介	
「おかやま森林づくり県民税」事業の概要	4	（大佐山オートキャンプ場）	14
ニューフェイスです！			
（真庭森林組合 池田昌平さん）	5		
森林研究所だより（令和3年度の主な研究課題）	6		
担い手確保に向けた取組みについて	7		
普及資料（マニュアル）のご紹介	8		
森林組合法の改正	9		



【ほっけ～木になる情報】

Q. 所有山林や経営の委託を受けた山林で、既設作業道の有無を簡単に確認する方法はありますか？
（答は13ページ）

© 岡山県マスコット「ももっち」



一 はじめに

林声5月号(No.477)では、本年4月にオープンした森林研究所林業技術研修棟の施設の概要をご紹介しましたが、今回は林業技術研修棟での研修内容等についてご紹介します。

二 伐採技術向上研修

この研修は、林業経営体の班長など、現場での指導的立場にある方を対象に、「技術を伝える」方法を学び、適正な職場内研修の実施により、若い技術者の技術向上、労働災害の防止、安全な職場環境の創出を図り、就業者の育成と定着に繋げることを目的に実施しています。

前期3日間、後期2日間の日程で行われ、伐倒方法などの基礎的な技術の再確認や、新規就業者など初心者への指導方法の実践などを学んでいただきます。

当施設では、室内で繰り返し伐倒作業の練習ができる伐倒練習機を導入しており、伐倒技術(水平や斜め切り、受け口・追い口、伐倒方向のチェック)や、指導者役

と初心者役に分かれての指導シミュレーションなどの実習が可能です。また、林業労働災害伐木技術教育VRシミュレーターを使用し、伐木作業の点数化や労働災害の疑似体験を行うことで安全作業への意識向上を図ります。



VRシミュレーター体験の様子

三 機械整備技術習得研修

林業現場で欠かすことのできない高性能林業機械に関して、現場作業員の方に機械整備や故障時の応急措置等の技術を習得してもらうことを目的に、令和2年度から機械整備技術習得研修を実施しています。

実習では、ザウルスロボやハーベスタ等の電気系統及び油圧の整備等や、保守メンテナンス方法を中心に学んでいただきます。

四 市町村等支援研修

新たに森林経営管理制度の担当者になられた市町村職員や地域林政アドバイザー等に、森林・林業に関する専門的知識を取得していただき、森林経営管理制度の推進を図るため、令和元年度から市町村等支援研修を実施しています。

研修は全4日で、森林法令、森林計画制度、森林経営管理制度、林業経営、施業技術、森林クラウド情報の活用等、幅広い分野のカリキュラムを実施しています。



市町村等支援研修の会場 研修室(小)

五 ハーベスタシミュレーターを使った操作体験

高校生などの就業希望者や新規就業者に、室内で高性能林業機械の操作を体験してもらうため、実際のハーベスタに搭載されている

操作レバーを用いたシミュレーターを導入しました。この機械にはトレーニングプログラムも搭載されており、ゲーム感覚で体験することができ、校外授業や1日林業体験会などで使用することとしています。



トラックタイプハーベスタのシミュレーターを導入

六 最後に

上記以外にも、林業経営者に対するマネジメント研修や狩猟・鳥獣被害対策に関する研修などが、当施設において実施される予定です。また、林業経営体の社内研修の一環として、研修室や研修機材の利用が促進されるよう周知していくこととしています。

(林政課 普及指導班)

民間事業者等におけるクラウドファンディング活用事例

【津山普及指導区】

今回、津山普及指導区からご紹介するのは、昨年度に実施された、民間事業者と業界団体による2つのクラウドファンディング（以下「CF」という。）の取組みについてです。

一 CFとは

CFとは、「モノやサービスの提供」や「世の中の問題解決」といったプロジェクトの発案者がインターネットを介し、これに共感する不特定多数の支援者から、資金を調達する手法です。

今回ご紹介する2事例は、レプトイル株式会社（津山市）が提供する「FAAVO岡山（<https://camp-fire.jp/favo/>）」という地域型CFサービスにより実施されました。

二 院庄林業株式会社による

「3000本の檜を植えよう！

みんなであつくる50年後の森」

院庄林業（株）は国内有数のヒノキ製材事業を行っています。近年、素材生産（立木買取）事業にも取り組んでいます。

日本の人工林を持続可能な資源として守るために、次世代林

育成の普及啓発を目的に行われたこのプロジェクトは、目標金額100万円に対し、2ヶ月で120%を達成しました。支援金は主に、ヒノキの苗木購入と植林委託経費及び返礼品に充てられました。

返礼品には、美作ヒノキの雑貨の他、植林・工場見学体験や、植林地に設置する支援者名が記載された看板等が設定されました。



返礼品の一例
(ウッドトーチ)

三 木の国美作推進協議会による「使つて守る100年の美作桧循環利用プロジェクト」

木の国美作推進協議会は、美作

地域の素材生産・製材・流通事業者などにより構成され、一般消費者に対して美作材の各種PR活動などを行っている団体です。

「人工林を伐つて使うことが地球環境保全に繋がる」ことの普及啓発を目的に行われたこのプロジェクトは、目標金額100万円に対し、一ヶ月半で160%を達成しました。

支援金は主に、一般消費者が見学や体験型イベントに参加できる「百年の美作桧の森」の整備や返礼品に充てられました。

返礼品には、「百年の美作桧の森」から選ぶ大黒柱（山での選定・伐採体験付き）と障害者支援



返礼品の一例
(大黒柱用原木の斧入れ式)

施設で作る桧の木工品等が設定されました。大黒柱のある家を建ててもらおうことで、これを使う地域の大工とその技術も守り続けたいという同協議会の思いがあったそうです。

四 おわりに

それぞれのプロジェクト担当者へ取材したところ、CF実施における苦勞を伺えました。まず、サイトにプロジェクトを掲載するだけでは多くの閲覧数を獲得することが出来ないため、各種SNSをフル活用するなど、事前の情報発信が重要であるとのことでした。また、プロジェクト紹介ページでは、不特定多数のサイト閲覧者に分かりやすく訴求する文章が求められます。さらに、返礼品の準備には、表には現れない多くの関係者の労力がかかっています。

環境保全へ繋がる林業振興はCFで共感を得やすいテーマであるかも知れませんが、今回紹介した2つの事例は、担当者の情熱と関係者の献身的な協力があってこそ成功したものと思われま

す。なお、CFでは、サイト運営会社への手数料が発生しますが、美作県民局の「美作国CF普及促進事業（H31～R2）」を活用して、その半額が補助されました。

（津山普及指導区 野上 英孝）

令和3年度「おかやま森づくり県民税」事業の概要

県では、県民の貴重な財産である岡山の森林をより良い姿で次の世代に引き継いでいくため、平成16年度から「おかやま森づくり県民税」を活用した森林保全事業を実施しています。

令和3年度は、692,615千円を活用して主に次の事業に取り組むこととしています。

1 水源の涵養^{かん}、県土保全などの森林の持つ公益的機能を高める森づくり 431,931千円

(1) 健全な人工林の整備 (277,857千円)

緊急的な間伐等の促進、作業道の整備・補修等、スギ間伐材の搬出促進、林業被害をもたらすシカの捕獲対策及び花粉発生源対策等を支援します。

(2) 多様な森づくりと快適な森林環境の創出 (154,074千円)

荒廃した里山林の整備、ナラ枯れ被害木の重点的な駆除及び地域の実情や課題に対応した市町村による森林保全の取組を支援します。

2 森林整備を推進するための担い手の確保・育成と木材の利用促進 214,997千円

(1) 力強い担い手の確保・育成 (39,564千円)

新たな林業就業者確保に向けた取組、林業の専門的な知識や技術を有する優れた人材の育成及び安全装備や労働強度の低減機材等の導入を支援します。

(2) 木材の利用促進 (175,433千円)

公共建築物等の設計・木造・木質化等、県産森林認証材を使用した木造住宅の新築・改修、県産材製品の販路拡大、F M認証等森林認証の取得促進、東京2020五輪大会選手村ビレッジプラザへの県産材の活用等を支援します。

3 森林・林業に関する各種情報の提供と森づくり活動の推進 45,687千円

(1) 県民への情報提供 (27,271千円)

小学生向けの社会科副読本の作成や身近に木と触れあえる空間を創出します。

(2) 県民参加による森づくり活動の推進 (18,416千円)

おかやま森づくりサポートセンターの活動支援や森づくり活動に取り組む企業等への二酸化炭素森林吸収評価認証書の交付、都市と山村との交流活動の支援、緑化への意識や森林を守り育てていく心を育む契機として「みどりの大会」等を開催します。



健全な人工林へ向けての間伐実施



伐倒くん蒸によるナラ枯れ被害防除



高校生への林業就業体験支援



公共建築物の木造化支援



木と触れあえる空間の創出



「みどりの大会」の開催



各事業の概要については、林政課ホームページに掲載していますのでご覧ください。

※岡山県林政課HP「おかやま森づくり県民税」

URL:<https://www.pref.okayama.jp/page/433837.html>

(林政課普及指導班)

「ニューフェイスです！」

真庭森林組合

池田 昌平さん (28歳)

今回は、真庭森林組合の池田昌平さんをご紹介します。池田さんは令和2年3月に本所事業課に技術員として採用され、現在は落合支所に勤務する、将来が期待されている若手職員です。



真庭森林組合 池田 昌平さん

一 経歴

池田さんは、真庭市（旧八束村）のご出身で、同市内の高校を卒業後、鳥取県米子市の職業訓練校で建築に関する知識・技術を勉

強されました。その際、実習で木材に触れていくうちに木材や森林に興味を持たれました。卒業後、真庭市内の林業とは無縁の会社に就職されましたが、木材や森林への興味を持ち続けていたため、地域情報誌で見つけた真庭森林組合の職員募集に応募し、就職を決められたそうです。



事務所でパソコンに向かう 池田さん

二 仕事の内容

採用後に配属された本所では、事業課業務の補助を主に行っていました。その中で森林や木材に関する知識や購買業務、測量について学ばれたそうです。

落合支所に配属されてからは、現場の施工管理等を任されており、

パソコンでのデータ入力や伝票の整理、境界の確認やコンパスを用いたの測量及び図面作成を担当しております。

三 仕事への想い

やりがいを感じる時について伺うと「問伐などで作業した森林がきれいになった状態を見た時」と答えてくれました。また、仕事の大変なところについて伺うと「諸先輩方と比べ業務量も少なく、助けていただいているので、特にありません。早く多くの業務ができるように頑張りたいです。」と謙虚な様子で話されました。

四 今後の抱負

今後の抱負を伺うと「チェンソーや中型トラック等の資格を取り、業務に生かしていきたい。」「諸先輩方のようにフォレスターや林業事業体の方々に信頼され、いい関係を築くことのできる職員になりたい。」「とのことでした。

取材の最後に趣味について伺うと、「読書、ゲーム、釣りで、特に釣りは、日本海へいくこともあり、アジ、サバ、イカなどを中心に釣っている。」と話されました。

五 上司からひと言

落合支所の松田所長に伺うと「森林組合に転職して1年あまりですが、真面目に仕事に取り組み、物覚えも早いので、将来が楽しみです。まだ、覚えることがたくさんあるので頑張ってもらいたい。」と笑顔で答えられました。

六 終わりに

お話を伺っていると、池田さんの誠実な人柄により、上司とも良好な関係が築かれていると感じました。

池田さんの益々のご活躍を期待するとともに、当普及指導区としても、支援していきたいと考えています。

(林業普及指導員 神本 英夫)



現場での測量



森林研究所だより (令和3年度の主な研究課題)



森林研究所では、「林業経営の合理化等に必要な実用的技術に関する試験研究」や「木材の特性を生かした新しい加工・利用技術の開発」に取り組んでおり、森林・林業・木材産業関係者から広く意見を募って、地域の要請に添った試験研究を行っています。

主な試験研究課題

区分	分野	課題名	年度
林業研究室	育林育種	①少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の生産技術の確立	R3～R5
		②早生樹種の選抜・育成に関する研究	R3～R5
		高齢級人工林の資源量推定に関する研究	R元～R3
	森林保護	シカ被害軽減に向けた防除技術の研究	H29～R3
		ナラ類集団枯損についての調査研究	R元～R3
特用林産	樹木デンプンによる菌根性きのこの人工培養	R元～R3	
木材加工研究室	加工技術の開発・改良	香りを評価指標とするヒノキ材人工乾燥条件の検討	R元～R3
	木質材料の開発	CLTの新たな分野での利用方法の検討	R2～R4

主な試験研究の概要

【少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗の生産技術の確立】

花粉症は国民の4割が罹患していると言われており、県では花粉症発生源対策を重点施策に掲げ、少花粉スギ・ヒノキによる植替えを促進しています。

このことを受け、当研究所では、所内の少花粉スギ・ヒノキ採種園から実際に生産された種子について、この度、新たに導入した「充実種子選別機」を用いて、より充実した種子の選別条件を最適化する研究に取り組んでいます。

また、発芽器の導入により、種子の発芽を早め、稚苗の成長を促進させることにより、育苗期間の短縮を図る研究を始め、コンテナへの直接播種や、セル苗移植など、現場における育苗効率の向上を目的とした育苗方法の研究にも着手しています。



充実種子選別機の稼働状況

【CLTの新たな分野での利用方法の検討】

CLT（直交集成板）については、近年、建築分野への利用は進んでいるものの、建築分野以外への利用はほとんど実績がなく、幅広い分野への利用拡大を図ることが更なる県産材の需要拡大に繋がるものと期待されています。

当研究所では、単価の安い小径木から3層3プライの低コストCLTを製造し、軟弱地盤対策に使用することを前提とした面外曲げ強度試験及びグラップル付きバックホウ（5tクラス）による走行摩耗試験を実施し、問題なく使用できることを確認しました。

今後は、作業現場での利用の検討を進めるとともに、木製残存型枠等への新たな活用方法についても検討を行います。

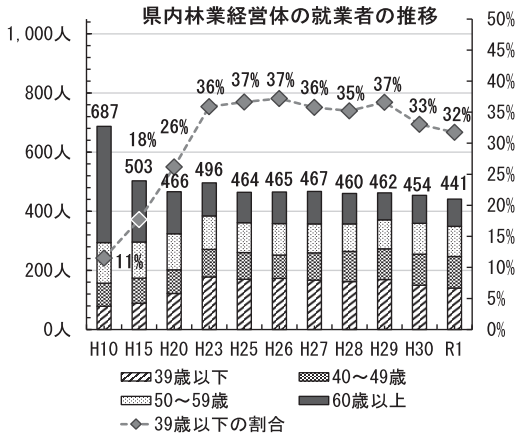


バックホウによる走行摩耗試験

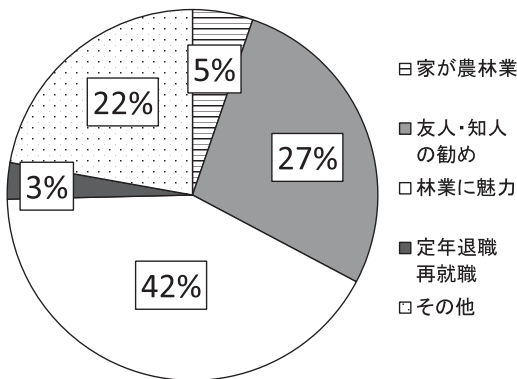
担い手の確保に向けた
取り組みについて

一 はじめに

「伐って、使って、植えて、育てる」という林業のサイクルを循環させ、森林を適正に管理するためには、林業の担い手の確保が必要であることから、県では林業就業者の状況も把握しながら新規就業者の確保に取り組んでいます。今回は、県内の主な林業経営体の就業状況と新たな施策についてお知らせします。



新規就業者の就業理由



二 県内林業経営体の就業者の推移

県内の認定事業体を対象として調査したところ、林業就業者数は、平成20年度には466人、令和元年度では441人と、ほぼ横這いで推移しています。一方、39歳以下の方が占める割合は、平成20年度には26%だったのに対し、令和元年度には32%に上昇しています。また、新規就業者の就業理由については、林業に魅力を感じて就業した方が一番多く、次に友人・知人の勧めとなっています。

新規就業した方は、住居の移転を伴わない地元からの就業の方が多いですが、Iターン（県外からの移住）により新規就業した方も全体の7%程度います。

三 林業就業相談窓口の開設

林業に魅力を感じて就業する方が多くいることから、県では、そうした方が気軽に就業相談できる窓口として、森林研究所（勝央町）の林業技術研修棟内に「林業就業相談窓口」を開設し、公益財団法人岡山県林業振興基金に運営を委託しています。

林業就業相談窓口には、就業相談員を配置し、新規就業希望者や転職希望者等からの就業相談等の対応を行っています。

また、就業前に林業体験を希望する方を対象とした1日林業体験を企画しています。林業体験では、林業の職場がイメージできるように、森林組合や林業経営体の事務所、現場、木材加工流通施設等の見学を行うとともに、林業技術研修棟での林業に関する基礎的な学習や林業機械操作体験を行う予定です。

四 最後に

朝のNHK連続テレビ小説で森林組合が舞台になるなど、林業に注目が集まっており、林野庁もホームページで放送内容とリンクした情報発信も行っています。

県では、新規就業者の確保の取り組みのほか、優れた知識や技術を有した人材を育成するため、国の

林業就業相談窓口

- 電話 (0868) 20-1931
- 相談時間 平日 8:30～17:00
- 岡山県林業振興基金 HP <http://www.okmoriren.or.jp/kikin>

(林政課 普及指導班)

研修制度である「緑の雇用」との連携を図りながら、林業経営体が行う職場内研修や安全装備等の導入による就労環境の改善、専門的な知識・技術を有する人材の育成のための研修等を実施するなど、引き続き、担い手の確保・育成に努めていきます。



就業相談窓口の様子

普及資料(マニュアル)のご紹介



一 はじめに

森林研究所では、令和2年度末に終了した研究課題「少花粉スギ等の生育状況調査」及び「岡山甘栗の栽培技術の確立」について、関係機関と連携し、本年3月、普及資料(マニュアル)を作成したところです。

今回、両マニュアルのポイントについて、簡単に紹介します。

二 「少花粉スギ・ヒノキコンテナ苗生産マニュアル(初版)」



少花粉スギ・ヒノキへの植替えを推進するためには、低コストで植栽できるコンテナ苗木の生産増大が不可欠であることから、この

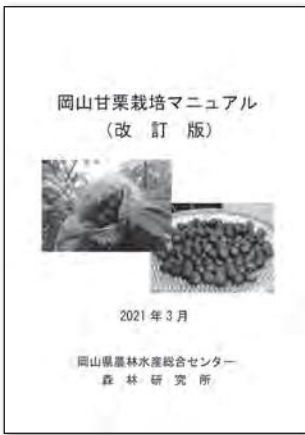
マニュアルを作成しました。

これまで作成された他県のマニュアルも参考にして、コンテナの種類や苗木の規格から、管理の方法など育苗全般について、写真や研究成果で得られた図表票等も記載しています。

特に、今後は、育苗コストを下げることが出来る「1年生コンテナ苗」が主流となると考えられることから、その生産方法についても、試験結果を交えながら解説しています。

既に生産をしている方やこれから生産を始める方はもちろん、コンテナ苗木を植栽する方にも読んでもらいたい内容となっています。

三 「岡山甘栗栽培マニュアル(改訂版)」



当研究所が育成した、「岡山一号」、「岡山三号」を「岡山甘栗」と総称し、平成22年度より、

勝英地域を中心に、現在、産地化を図っています。2年前からは、クリの生産が本格的に開始されたことから、今後、クリ生産量の安定確保とともに、品質向上や、収益性が大きな課題となってきました。

既存のマニュアル(初版)では苗木植栽から結実までの園地管理が中心でしたが、今回、「選果作業」、「クリの加工」、「経営指標」等の項目を追加し、この度、栽培マニュアル(改訂版)を作成しました。

今後、当該マニュアルが活用され、高品質のクリが安定的に生産されることを期待するとともに、新規で栽培を考えている方には、その収益性も含め、是非、読んで頂きたいと思います。

四 おわりに

両普及資料(マニュアル)については、当研究所ホームページからダウンロードできるようにしていますので、是非ご利用ください。

【森林研究所ホームページ】
<https://www.pref.okayama.jp/soshiki/209/>

(林業研究室 西山 嘉寛)

特用林産功労者表彰

美作市 福嶋 広基 さん

日本特用林産振興会(会長 小淵優子)が主催する、第34回特用林産功労者として、美作市在住の福嶋広基様が選ばれ、表彰されました。心から、お喜び申し上げます。

福嶋さんは、父親が34年前に始めたキノコ栽培を引き継ぎ、平成8年にはブナシメジの栽培を開始し、県内でも数少ないブナシメジの生産者となっています。

また、販売については、鮮度の高いきのこを消費者へ届けるため地産地消を基本理念として、市内の直販所を中心に販売を行っています。

例年なら、東京都で開催される振興会の総会で表彰式が行われますが、本年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、残念ながら表彰式は中止となり、県と美作市が自宅を訪問し、表彰状と記念品を手渡しました。

(林政課普及指導班)

森林組合法の 改正について

一 はじめに

森林組合の組織運営等を定めた森林組合法が改正され、本年4月1日に施行されましたので、その概要をご紹介します。

二 法律改正の背景

森林組合は「意欲と能力のある林業経営者」として、森林の経営管理の集積・集約と、木材販売等の強化を通じて、山元への一層の利益還元を進めていくことが求められています。このため、経営基盤の強化を図るための制度の見直しが行われました。

三 法律改正の概要

まず「組合間の多様な連携手法の導入」としては、販売事業等その他の組合へ分割して継承させる「吸収分割」等の手法が創設され、双方の組合が強みとする事業に専念できる体制整備が可能となりました。

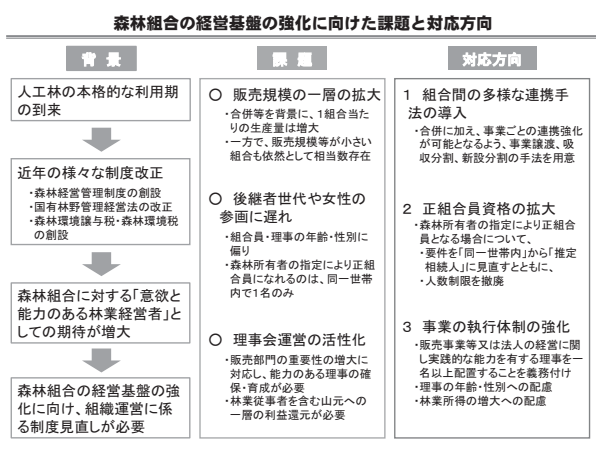
次に「正組合員資格の拡大」としては、正組合員資格を有する後継者の範囲が推定相続人にまで拡大され、上限人数が撤廃されました。

さらに「事業の執行体制の強化」としては、組合の理事について、販売事業等に関して実践的な能力を有する者の配置が義務化されたほか、年齢や性別の偏りが生じないように配慮すべき旨が追加されました。

また、組合員への利益還元のため、林業所得の増大に最大限配慮することも明記されています。


四 終わりに

組合指導課としては、このたびの法律改正を通じて、森林組合の経営基盤が一層強化されるよう助言・指導を行ってまいります。



(組合指導課 組合指導班)

「もしも」に備えて・・・森林保険があります！



FOREST INSURANCE

森林保険

加入できる森林は？ 人の手が加わった森林
 加入期間は？ 1年単位で何年でも！
 保険金がでるのは？
 火災、風害、水害、雪害、干害等気象災の損害があったとき、森林所有者に支払われます。
 岡山県では過去5年間で約4千5百万円の保険金が支払われました。

ご契約のモデルケース (1ha あたり)

樹種…ヒノキ 契約時林齢…1年 保険期間…5年 保険金額…最大188万円 一括払いだと 27,444円 (5年間計)	樹種…ヒノキ 契約時林齢…26年 保険期間…5年 保険金額…最大299万円 一括払いだと 43,325円 (5年間計)
---	--

1ヶ月あたり
約460円

➡

わずかおむすび
4個分

1ヶ月あたり
約720円

➡

わずかラーメン
1杯分

○保険金額を50%にすることにより、保険料を50%にすることも出来ます。
 ○条件によって契約金額が変わってきます。

○お申し込み、お問い合わせはお近くの森林組合まで。

技能講習会の開催（8月～10月）

※詳細は申込先にお問い合わせください。

名 称	会場	日 程	申込・問合せ先
伐木（特別教育）	岡山	9月6,7日	林業・木材製造業労働災害防止協会 岡山県支部 (事務局:(公財)岡山県林業振興基金内) TEL (086) 225-9382 (7/21迄) TEL (086) 236-7077 (7/27以降)
	津山	10月12,13日	
刈払（安全衛生教育）	津山	8月6日	一般社団法人 岡山県労働基準協会 TEL(086)225-3571
小型移動式クレーン運転	岡山	9月9,10日	
玉掛け	岡山	9月2,3日、9月4,5日 10月7,8日	
	玉野	10月18,19日	
	笠岡	9月21,22日	
	新見	10月21,22日	
	津山	10月4,5日	
フォークリフト運転	岡山	8月12日、8月28日 9月8日 10月6日、10月23日	
	和気	9月7日	
	笠岡	9月16日	
	津山	10月12日	



CT-500C

GP-532
小型ハイパワープロセッサ
IWAFUJI
INDUSTRIAL CO., LTD.



shindaiwa

高性能大型林業機械から電動工具まで何でも揃う

美津吉商事株式会社

津山市一方 194 〒708-0883 TEL(0868)23-2255
<http://www.mitsuyoshi.com/>

— 安全・人と自然・調和 —

美林を育てる

〔林地除草剤〕ザイトロンフレノック微粒剤・ザイトロン微粒剤・フレノック粒剤・ケイピンエース

造林木を野生動物の食害から守る

〔野生獣類忌避剤〕ランテクター水和剤・コニファー水和剤

〔幼齢樹保護カバー〕くわんたいⅡ 〔樹皮食い防止〕バークガード・美樹巻夫

〔樹幹注入剤〕マッケンジー・マツガード・他 〔野生草食獣侵入防止〕防獣ネット・他

お問い合わせ申込みは県森連・森林組合へ

販売:日植アグリ株式会社
TEL.086-292-5525

販売元:大同商事(株)大阪営業所
TEL.06-6384-1288

林 産 物 市 況



●木 材 (6月29日)

単位：千円/m³

樹種	長さ	径 級	直材	小曲り	樹種	長さ	径 級	直材	小曲り
杉	3 m	1 4～1 6	14	—	桧	3 m	1 4～1 6	53	30
		1 8～2 0	14	—			1 8～2 0	51	30
		2 2～2 8	14	—			2 2上	29	26
	4 m	1 8～2 2	12	10		4 m	1 4～1 8	39	38
		2 4～2 8	12	10.5			2 0～2 2	39	38
	6 m	1 6～1 8	—	13			2 4～2 8	39	38
					6 m	1 6	25	—	
						1 8～2 0	35	30	
・出荷材積			約2,100m ³						
<p>(共販所より概況)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>杉概況 3 m、4 mともに横這いで推移</p> <p>【3m】 柱 材 横這い 中目材 横這い</p> <p>【4m】 中目材 横這い 元 木 横這い</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>桧概況 桧材は何十年かぶりの高値。 しばらくは好調を維持していくと思われる。</p> <p>【3m】 柱 材 強い 中目材 強い 元 木 横這い</p> <p>【4m】 柱 材 強い 中目材 強い 元 木 横這い</p> </div> </div>									

資料：岡山県森連勝山木材共販所市況速報、価格は中値

●製 材 (6月)

樹 種	寸 法	等級	区分	安 値 ～ 高 値 (円/m ³)	備 考
ス ギ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	75,000 ～	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	75,000 ～	
ヒ ノ キ	正角 3 m 10.5cm角	特等	K	95,000 ～	
	正角 3 m 12cm角	特等	K	90,000 ～	
	正角 4 m 10.5cm角	特等	K	95,000 ～	
	正角 4 m 12cm角	特等	K	95,000 ～	
マ ッ	平角 4 m 10.5～12cm ×15～18cm	一等	K	75,000 ～	
米 マ ッ	正角 3 m、4 m 10.5cm角	特等	G	76,000 ～	
	平角 3 m、4 m 10.5 ×15～21cm	特等	G	75,000 ～	
北洋アカマツ	タルキ 4 m 3.8cm角	特等	K	100,000 ～	
ホワイトウッド	間柱 3 m 2.7cm×10.5cm	特等	K	85,000 ～	

注1：価格は、岡山県内の市場の相場を参考とした。
注2：区分のKとは人工乾燥材、Gとは未乾燥材のこと。



『森林保険』



岡山県森林組合連合会

Tel.086-222-7671 (7/21 迄)

7月27日から、新事務所で業務開始します。

Tel.086-236-6530 (7/27 以降)

「災害リスクの回避・復旧への手助け」

30年生 ヒノキ 1.0ha 3年加入 保険金額約 100万円 加入保険料：9,251円

※標準金額の30%で、保険金額と保険料の設定しています。

(上記条件の標準保険金額 約300万円 加入保険料：27,753円)

森林経営管理制度に対応した設定もできますのでご相談ください。

🦾 ドローンによる苗木・資材運搬できます 🦾

こんなものも運べるかな?というご相談も遠慮無くご連絡ください。

(災害復旧用資材も検討。積載量 10kg 以内 片道 300m 往復約 3分)



「緑の募金」 ご協力をお願いします

緑の募金で進めようSDGs (持続可能な開発目標)

募金期間

春のみどりの月間

4月1日～5月31日

秋のみどりの月間

10月1日～10月31日

口座振込は
こちらへ

ゆうちょ銀行 01270-0-5225
中国銀行岡山駅前支店 1852041
トマト銀行岡山駅前支店 1027972

寄付金に対する税の優遇措置が適用されます。

公益社団法人 岡山県緑化推進協会

岡山市北区錦町1-8 TEL・FAX (086) 221-9511



緑豊かな自然を守る

治山・林道事業の普及啓発、技術援助

治山・林道の調査、測量、設計、積算

森林整備・森林公園の総合計画

一般社団法人 岡山県森林協会

岡山市中区高屋 225-1 TEL 086-271-3711

津山市二宮 1849-2 TEL 0868-28-9360

おかやまの木で家づくり支援事業

✓助成金額：最大24万円/戸

✓助成対象者：県内において住宅を新築または
改修される施工業者（大工、工務店等）



詳細は
コチラ

<http://www.kaiteki-kinoie.or.jp/subsidy.html>

一般社団法人 岡山県木材組合連合会

〒700-0902 岡山市北区錦町1-8(岡山県木材会館内)

TEL(086)231-6677 FAX(086)232-7549

木を通して環境保全に貢献しています



公園修景施設・土木用資材

防腐処理・ログハウス・デッキ

さんもく工業株式会社

〒702-8045 岡山市南区海岸通2丁目6番3号
TEL 086-262-0137(代) FAX 086-262-0130

ほっけー木になる情報

Q. 所有山林や経営の委託を受けた山林で、既設作業道の有無を簡単に確認する方法はありますか？

A. 岡山県森林クラウドの「微地形表現図 (R1) H 30 LP」又は「路網図 (R1) H 30 LP」を表示すると一目瞭然です。

①微地形表現図 (R1) H 30 LP

・地盤高をもとに地形の情報を表現した画像で、等高線図では識別が困難な路網情報を容易に把握できます。

・森林クラウドで表示される微地形表現図は、平成30年度に取得したデータをもとに作成したもので、空中写真等では立木に隠れて確認できない既設路網を写真感覚で把握することができます。

②路網図 (R1) H 30 LP

・こちらは①をもとに作成したシェイプデータで、幅員2.5m以上の路網を、実線(作業道)と点線(その他道路)で表示しています。

表示方法

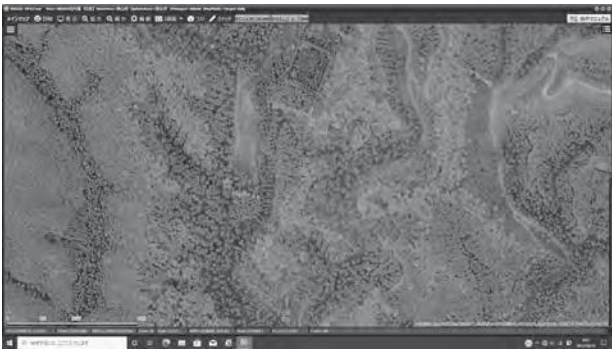
森林クラウドで確認したい山林を表示し、画面右端に表示される

「レイヤ」の①②のチェックボックスにチェックを入れるだけです。
 <活用方法等>

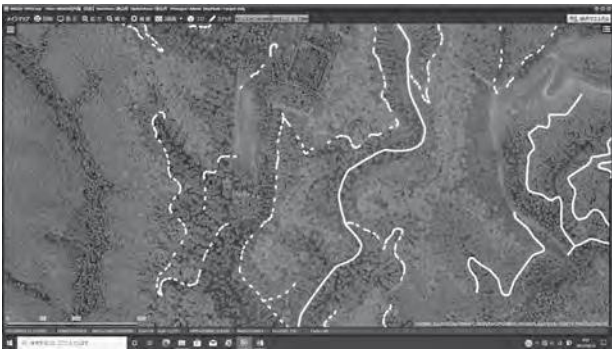
森林整備の計画を立てる時や、森林作業道を設ける計画段階(踏査前)等には是非活用してください。また、表示された既設作業道が安全に使用可能かを必ず現地で確認してください。

なお、岡山県森林クラウドは、「岡山県森林クラウド運用管理要領」に基づき、利用者等を定め、運営・管理しています。

ご不明な点は、林政課森林企画班又は各県民局森林企画課・地域森林課までお問い合わせください。
 (林政課森林企画班)



空中写真
林冠に覆われて道が確認できない



路網表示:線の太さなど自由に変更可能



道など勾配の緩い箇所は白く表現される

事務局からのお知らせ

◎会員及び投稿募集しています!

事務局では、会員の方から森林・林業に関する質問や疑問、イベント情報など、身近な話題の投稿をお待ちしております。

また、新規会員も募集中です。詳しくは、事務局又は県庁支部までお問い合わせください。

【お問合せ先】

事務局

7月21日まで

岡山市北区岡南町2-5-10

☎ (086) 222-7671

7月27日以降

岡山市北区榑津491-1

☎ (086) 236-6530

■県庁支部

岡山市北区内山下2-4-6

☎ (086) 226-7451

編集後記

コロナ前と比べると、みんなで集まってる会議の数が格段に減りました。それに代わって増えたのがWEB会議。移動時間を省略できるため時間を有効に使えたり、マスクを外した顔が見えるというメリットの一方、画面を見ながら話し出すタイミングがとも難しい。今まで無意識に、隣にいる相手の呼吸の間を計っていたことに気づかされました。(アマビエ)

林声

森林・林業施設の紹介

「大佐山オートキャンプ場」

新見市北東部に位置する大佐山（標高988m）中腹の大日高原にある大佐山オートキャンプ場に昨年、屋外調理場が整備されましたので、ご紹介します。

当該施設は、新見市が令和2年度に森林環境譲与税を活用して整備し、県産ヒノキ材が7.7立方メートル等も合わせて整備され、研修棟としても利用できます。

当キャンプ場は、キャンプサイト68区画の他に、グループで宿泊できる大型ロッジ（宿泊定員20人）や、バス・トイレ付き冷暖房完備のトレーラーハウス（宿泊定員8人）3棟も整備されています。

目の前には備作山、県立自然公園の大佐山が一望でき、登山はもちろんです。様々なアクティビティも楽しめますので、ぜひ、一度は訪れてはいかがでしょうか。

（新見普及指導区 岡田和久）

【お問い合わせ先】

大佐山オートキャンプ場
電話：0867-98-3711
E-mail: <https://www.0380.jp>

令和三年七月一日（第四七八号）
（隔月一日発行）



トレーラーハウス



テーブルと椅子



屋外調理場の全景

編集
発行

〒700-0866 岡山県森林組合連合会内 岡山県林業改良普及協会
岡山市北区岡南町二一五〇

日本植生は環境緑化技術を創造し、地球環境の保全に貢献します。

間伐材利用植生基材マット	間伐材利用植生マット	間伐材利用生分解型植生マット	間伐材利用生分解型植生シート	間伐材利用植生シート
グリーンフォーム 〔切土軟岩用〕	森樹郎マット 〔切土土砂用〕	森樹郎マット21 〔切土土砂用〕	張りウッド 〔盛土用〕	ハリシバモック 〔盛土用〕



「岡山県エコ製品」の認定を受けた5品目
間伐材を有効利用した環境緑化資材です。

太陽と緑の国づくり
Nihon 日本植生株式会社

<http://www.nihon-shokusei.co.jp/>

津山支店 / 津山市高尾 580-1 TEL (0868) 28-0256
岡山事務所 / 岡山市北区芳賀 5325 TEL (086) 294-1000

NETIS登録：CB-010046-A 間伐材利用植生マット工法「森樹郎（シンキロウ）マット工法」

優良種菌で確かな収穫

もりのたねごま

◆シイタケ、ナメコ、ヒラタケ等の品種の選定及び栽培管理についてなんでも御相談下さい。

製造元 森産業株式会社

岡山営業所 岡山市北区辰巳46-104
TEL 岡山(086)805-7033(代)



緑あふれる環境づくり

株式会社 山都屋

本社 〒703-8273 岡山市中区門田文化町2丁目11番51号
TEL (086) 272-2161 FAX (086) 272-2142
<http://www.yamatoya-net.com>
大阪営業所 津山営業所 水島営業所



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。